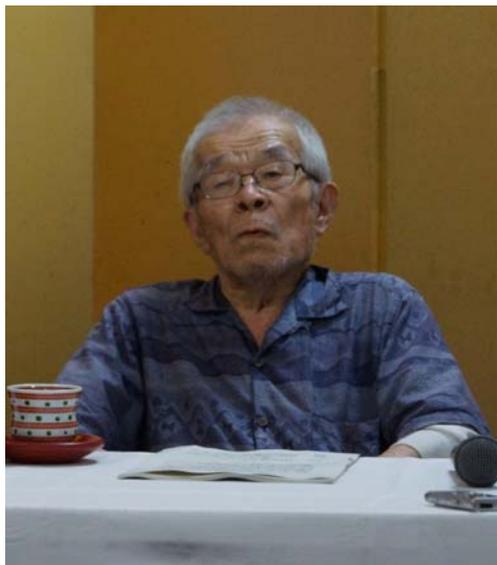


事業報告書

1 支援団体名	特定非営利活動法人 嘉瀬川交流軸
2 事業名称	佐賀平野 水資源開発施設の総合学習
3 実施日時	平成 24 年 6 月 29 日（日）午後 3 時～午後 5 時 15 分 平成 25 年 3 月 23 日（土）午後 2 時～午後 4 時
4 実施場所	6 月 29 日 佐賀市 あげぼの旅館 3 月 23 日 佐賀市 さが水ものがたり館
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容) *できるだけ詳細に</p> <p>本事業は、佐賀平野の水利用について成富兵庫が行った蛤水道、昔から行われている淡水取水、戦後開発された北山ダム、川上頭首工、嘉瀬川大堰、筑後川総合開発（筑後大堰等）、六角川河口堰、嘉瀬川ダム、佐賀導水事業等による水資源開発の目的、歴史について、佐賀平野の特徴を含め整理し学び、後世に伝えていくことを目的にする。</p> <p>6 月 29 日に行った佐賀平野の水利用に造詣^{ぞうけい}が深い宮地米蔵元久留米大学と正木裕美元佐賀県農林部長との対談内容を中心に、佐賀平野の水資源の開発及び水利用の経緯、地域と水のかかわり等についてこれまでの経緯を整理するとともに、本年 3 月 23 日にはさが水ものがたり館において本法人理事及び会員が参集し、対談内容が意味することを分析するとともに、今後の学習の方向性を議論した。</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>北山ダム、川上頭首工、嘉瀬川大堰、筑後川総合開発（筑後大堰等）、六角川河口堰、佐賀導水事業等と続けられてきた大規模事業も、昨年 3 月の嘉瀬川ダムの竣工で、一つの完成形となった。これらの大規模事業の企画・施工にあたった技術者の思いを記録し、後世に伝えることは、我々時代人の責務である。今回の対談内容を記録することにより、上記事業に携わった技術者の思いを記録にとどめることができた</p>
6 参加内訳	総人数 47名
	(1) 主催者参加 延12名
	(2) 日本人参加 ((1) を除く) 35名
	(3) 外国人参加 ((1) を除く) 0名
7 今後の方針	<p>次年度からは、佐賀平野の特徴と水利用の歴史について佐賀平野の水資源開発施設等の見学会等を行い、佐賀平野の水資源の開発及び水利用について学び、水の大切さ、環境保全の大切さ等を学ぶ企画を実施する。</p>

平成 24 年 6 月 29 日 あげぼの旅館(佐賀市) 宮地米蔵・正木裕美対談



宮地米蔵氏(元久留米大学教授)



正木裕美氏(元佐賀県農林部長)



右二人 荒牧軍治・川上義幸(法人理事)



会場の風景

平成 25 年 3 月 23 日 さが水ものがたり館(佐賀市) 法人理事による対談内容の分析



NPO 法人嘉瀬川交流軸 理事による討論風景